

実施状況報告

事業名	企画展「東予産業遺産」
実施主体名	総合科学博物館(共催:東予歴史文化資源活用市町連携協議会)
日 時	平成 29 年 10 月 7 日(土)~11 月 26 日(日)
場 所	総合科学博物館 企画展示室
参 加 者	5,980 人

東予地方に残る産業遺産を一般に広く紹介するため、産業遺産の現在の様子を写真パネルで展示しました。展示コーナーは地域ごと(四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、上島町)に分けて展示しました。

新居浜市のコーナーでは、別子銅山産業遺産を詳しく紹介したほか、関連資料(銅鉱石、ふいご、カンテラ、小鉛、煙害契約書、四阪バケツ、江戸時代銅製鍊再現ジオラマ、四阪島ジオラマ模型、現在の銅製鍊原料・副産物・製品等)の展示を行い、可能な資料については体験展示としました。遠足シーズンのため、県内外の小・中・高校も多く来場いただきました。

会期中、新居浜南高等学校ユネスコ部の協力のもと展示案内解説を実施したほか、東予地方の産業遺産について理解を深めてもらうことを目的とした講演会やサプライズオペラも開催しました。



実施状況報告

事業名	パネル巡回展「太陽のふしぎ」
実施主体名	総合科学博物館
日 時	平成 29 年 10 月 21 日(土)~11 月 19 日(日)
場 所	総合科学博物館
参 加 者	8,786 人

JAXA の太陽観測衛星「ひので」をはじめとする、最新鋭の観測装置によって明らかにされてきている太陽の知られざる姿を豊富なカラー写真やイラストで紹介しました。



実施状況報告

事業名	開館記念イベント
実施主体名	総合科学博物館
日 時	平成 29 年 11 月 5 日(日)
場 所	総合科学博物館
参 加 者	1,630 名

博物館の開館 23 周年を記念して、常設展示室の観覧料を無料としたほか、館内で様々なイベントを開催しました。

エントランスホールでは「タネで遊ぼう！」「タネ模型と昆虫グライダーを作ろう」「きまぐれ市」を行いました。

また常設展4階自然館で「みんなで一緒に恐竜体操Special！」、常設展3階・4階ならびにプラネタリウムをスタッフと一緒に巡る「わくわくかはくツアーア」(参加者には、オリジナルカンバッチをプレゼント)、企画展示室では企画展「東予産業遺産」を実施し、企画展関連イベントとして「講演会」を開催し東予地方の産業遺産について理解を深めていただくとともに、別子銅山を縁に還した伊庭貞剛を主人公にしたサプライズオペラ「天空の町～別子銅山と伊庭貞剛」を館内で開催しました。



実施状況報告

事業名	巡回展「森に親しむ博物館」
実施主体名	総合科学博物館
日 時	平成 29 年 7 月 15 日～8 月 6 日・8 月 19 日～9 月 10 日・10 月 14 日～11 月 5 日
場 所	五十崎廻博物館・村上水軍博物館・総合科学博物館
参 加 者	120 名・5,446 名・9,896 名

県内各地で森林をテーマにした企画展を開催し、森林を保全することによって維持される生物多様性など、人と森林の共生の大切さを広く県民に理解してもらうことができました。

県内市町等の博物館などで開催することにより、県立博物館が閉館し博物館資料を見る機会が少なくなっている中予地域の児童生徒に、実物資料に接する機会を提供することができました。

また3点新規製作した植物のレプリカ標本については、より臨場感のある展示を演出するとともに、展示終了後も科博での常設展、企画展での展示のほか、学校や市町等での出前授業、出張講座でも活用することにより、1年を通して森林環境の大切さの啓発効果が期待できます。また付帯事業としてミュージアムツアーや開催し、来館者へのサービスの充実と入場者増を図りました。

